

第1回 島本町防災会議録

(令和元年12月19日作成)

1	会議の名称	令和元年度第1回島本町防災会議		
2	会議の開催日時	令和元年12月19日(木) 午前10時～午前11時15分		
3	会議の開催場所	島本町役場地階 第五会議室	公開の可否	Ⓐ・一部不可・不可
4	事務局(担当課)	総務部危機管理室	傍聴者数	4名
5	非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
6	出席委員	山田会長、木瀬委員、山下委員、藤原委員、森岡委員、山口委員 笹岡委員、深井委員、池田委員、眞田委員、北岡委員、中村委員 名越委員、坂東委員、小田委員、北河委員、由岐委員、佐藤委員 原山委員、水木委員、持田委員、岡本委員、近藤委員		
7	会議の議題	1 令和元年度島本町地域防災計画の修正について 2 その他		
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島本町地域防災計画に関連する国や大阪府等の動向について</li> <li>・ 島本町地域防災計画 修正の方針(案)及び修正の概要</li> <li>・ 島本町地域防災計画に係る正誤表</li> <li>・ 島本町地域防災計画(素案)</li> </ul>		
9	審議等の内容	別紙のとおり		

## 令和元年度第1回島本町防災会議 要点録

日時：令和元年12月19日（木）午前10時～11時15分

場所：島本町役場 地階 第五会議室

### 【案 件】

#### 1 島本町地域防災計画の修正について

議 長：案件1について事務局から説明願う。

（事務局から資料に基づき説明）

議 長：案件1について、ご意見等があれば発言願う。

委 員：淀川水系浸水想定区域図の最大規模の降雨は枚方上流域 360 mm/24 時間とし、平成 29 年 6 月 14 日に洪水浸水想定区域図が公表された、とあるが、今年の台風第 19 号による大雨での河川の氾濫の規模は、この想定範囲内か。

事務局：現在は、国などの河川を管理する機関が測量などを行った図面を基に、ハザードマップを作成しております。淀川については、1,000 年/1 回の基準で作成。水無瀬川は、200 年/1 回だが、今年度大阪府が水無瀬川の 1,000 年/1 回の想定で作成しており、町はそれらの機関が作成した図面を基にハザードマップを発行している。今年の風水害により、想定最大規模が変わるかどうかは、まだ聞いていない。

委 員：淀川河川事務所としては、360 mm/24 時間は淀川流域の広い範囲の平均である。今年の風水害では、局地的に 900 mm/24 時間が降ったが、広い範囲では、360 mm/24 時間を超えたかは分からない。

委 員：避難勧告について、多数の住民が全避難した場合、避難所に受け入れることが可能か。

事務局：近年、避難勧告以上を発令しておりますのは、土砂災害警戒区域を対象にしたもので、1,300 人程度が対象です。この人数であれば、二小・三小・ふれあいセンターで全員の収容が可能です。委員がおっしゃるのは、台風第 19 号のような河川氾濫が発生した場合のことと存じます。淀川が氾濫した場合、避難者想定

18,000 人の内、浸水 50 cm以下の想定地域を除外し、マンションなどで3階以上に住んでいる世帯などを差し引いた実際の人数を想定する必要がある。避難所は現在 9,000 人収容できるが、三島地域での広域避難の勉強会に参加しており、被災しない市町村への避難も検討している。

委員：大阪府茨木土木事務所では、事務局から冒頭説明があったように市町村を指導する立場にあることから先日ヒアリングを行い、大阪府の改正をそのまま記載するのではなく、町が主体的に実施していくよう指摘している。例としては、「町が努める」となっているが、実施できるもの、実施しているものについては、「町が行う」等修正願う。

議長：それでは今回提示された地域防災計画の修正について承認することとしてよいか。

委員：異議なし。

(島本町地域防災計画の修正について承認を受ける)

## 2 その他

議長：案件 2 その他 について事務局から説明願う。

(事務局から今後のパブリックコメントの日程と結果を受けた第 2 回防災会議を開催する旨を説明)

議長：案件 2 について、ご意見等があれば発言願う。

議長：その他意見等はないか。

委員：特になし。

議長：それでは、他に意見が無いようなので、以上で予定していた「令和元年度第 1 回 島本町防災会議」の議案はすべて終了したので、閉会とする。